



古賀市記者懇談会（1月期）

令和5年1月26日(木)13時30分～

会場:応接室A

朝日新聞社、共同通信社、産経新聞社、時事通信社、西日本新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社
FBS、J:COM、KBC、NHK、RKB、TNC、TVQ(50音順)

①ふるさと古賀の味の伝承と農業の新たな価値創造のために、地域おこし協力隊員を新たに任命【P1】【古賀市役所】(問い合わせは 農林振興課 中田、大渡=092-942-1120)

令和5年1月、地域おこし協力隊員(ふるさとの味伝承支援事業員)として関東(かんと)憲子(のりこ)さんが新たに任命されました。

関東さんは、「まんま実～や」*が受け継いできた故郷の味を伝承しながら、古賀産の農産物で閉塞市場をこじ開けるべく、千葉県市川市から夫婦で移住を決意。農業未経験の2人が古賀生活を楽しみながら、新たな特産品開発に乗り出します。

【※古賀市のふるさとの味の次代への継承や、農産物の加工などに精力的に活動してきた女性農業者グループ。メンバーの高齢化やコロナ禍の収入減の影響で令和2年12月に解散、12年の歴史に幕を閉じた。現在は規模を縮小し、少数メンバーで古賀市青柳の加工所でジャムやお菓子などの製造販売を行っている。】

②「古賀市内小学生×留学生交流会」を開催～互いの文化を通じて心温まる交流へ～【P2】 【古賀市役所】(問い合わせは まちづくり推進課 飯尾・渋田=092-942-1165)

古賀市立千鳥小学校及び舞の里小学校の児童が、日本グローバル学院※(日本語学校)の留学生と文化等を通じた交流会を古賀市で初めて開催します。小学生による劇の披露(かさこじぞう)や小学生自ら企画した日本の文化や遊びを通じたおもてなし、留学生によるお国紹介や民族ダンスの披露を予定しています。

小学生と留学生が互いの文化を通じ、心温まる交流会を実施することで、子どもたちの国際感覚の醸成を図ります。

③一般社団法人OSAKAゼロカーボンファウンデーションと包括連携協定を締結します【P3】 【古賀市役所】(問い合わせは 環境課 吉永、村山=092-942-1127)

古賀市は令和3年11月にゼロカーボンシティ宣言を行い、2050年にCO2を実質ゼロの実現に向け取組を進めています。この度、市内企業をはじめとした公民連携による活動を強化・推進するために、先駆的なプラットフォームを持つ公民連携組織である「一般社団法人OSAKAゼロカーボンファウンデーション」と、大阪府以外の自治体として初めてとなる包括連携協定を結びます。今後は環境のみならず、幅広い分野で民間事業者の知識・資源・技術を活用しながら、公共サービスの提供につなげていきます。

④フードバンク福岡から市事業に参加する中学生に食料品を支援【P4】

【古賀市役所】(問い合わせは 隣保館 永延=092-943-4222)

「NPO法人フードバンク福岡」から、古賀市隣保館「ひだまり館」で実施している事業※の参加者(中学生)に、栄養補助食品や米などの食料品の支援が1月16日から始まりしました。この支援を通じて、フードバンク福岡が取り組む食品ロスや食のセーフティーネットに対する子どもたちの認識を高め、食の大切さを伝えるとともに、生き抜く力を養ってもらうことを期待しています。

【※スタンドアローン支援事業】

対象：市内中学生、実施日：火・木曜日の夕方、参加費：無料

目的：市内の中学生を対象に、居場所づくりや多様な講師陣による学習支援と社会体験学習等の支援を行うもの。登録者数：32人（実参加者数はおよそ20人前後）】

⑤古賀市コレクション展「赤星孝・信子展」を開催～赤星孝・信子さんをミルシルエガク【P5】【古賀市教育委員会】（問い合わせは 文化課 松本＝092-940-2683）

古賀市を代表する画家、赤星孝・信子夫妻の作品展とあわせて、学芸員の高山百合さんを講師に招きスライドトークとワークショップを開催します。

スライドトークでは、赤星夫妻の作品とその生涯に精通している高山さんにスライドを用いながら詳しく語ってまいります。その後のワークショップは、参加者がイベント後も自宅で気軽に絵に触れ合えるように、身近な色鉛筆を用いて絵を描きます。

展覧会で展示される作品は、遺族から寄贈された貴重なものや、市長室などに展示されている普段見かける機会が少ない作品も特別に展示します。

⑥高校生がコンビニの店頭販促（POP）デザインを作成【P6】

【古賀市役所】（問い合わせは 環境課 橋爪＝092-940-2683）

玄界高校美術部の生徒が「食品ロス」を削減するために、コンビニの食品棚に設置する販促（POP）のデザインを制作しました。販売期限が迫った商品を積極的に選んでもらう「てまえどり」を促すために、方言を入れるなど学生の自由なアイデアをデザインに取り入れました。

この取組はセブンイレブンから販促に関する相談が市にあり、「食品ロス」に対する両者の考えが一致したことで、広告に学生の自由なアイデアを取り入れることが実現しました。

**⑦非来庁型サービスの強化に向けて古賀市「LINE公式アカウント」はじめました！【P7】
【古賀市役所】（問い合わせは 経営戦略課 梶・横山＝092-942-1113）**

古賀市では、市民や市外の皆さんにお知らせしたい情報をいち早く、より手軽に届けるため、古賀市LINE公式アカウントの運用を開始しました。市の主な事業をはじめ、災害などの緊急情報の発信、手続きの予約など、様々な分野に活用していきます。

今後は市役所に行かなくても手続きが可能となるように、順次機能を拡充し、市民サービスの推進を強化していきます。

■全体の問い合わせ先

古賀市役所経営戦略課 川原、大川＝092-942-1346 ☑pr-koho@city.koga.fukuoka.jp

●今後の記者懇談会の日程（予定）

- ・2月20日（月）13時30分～ 場所：古賀市役所応接室A
- ・3月23日（木）13時30分～ 場所：古賀市役所応接室A